

近畿支部会報2018年11月号

秋も深まり木々の葉が紅葉しています。でも、夏の暑さのために一部の葉が既に枯れていたり、例年のように美しくありません。近頃の異常気象のもたらす影響でしょう。その元は地球温暖化です。

私が昨年アメリカのソルトレイクシティを訪れた時、水資源を山の雪解け水に頼っているソルトレイクシティでは、年々雪の量が減っていて「私たちの時代は良いけれど、子供たちの時代、水はどのようなのかなあ」と心配されていました。今や「私たちの時代は良いけれど」と言えない位、温暖化の被害が世界各地で報告されています。

私は旅行をすると、地球温暖化にならないために世界各国の人が非常に気をつけていられる事を感じます。日本でもプラスチックのレジ袋を使わない等浸透してきていますが、この秋訪れたベルギーのチョコレートや木の実等の食料品店では、商品は一切包装せず大きな容器に入れて並べられていて、買いに来る人が容器を持って来て必要なだけ入れていました。容器を持って来ていない人のためには、家庭で不要になった容器を色んな人がお店に持って来ておいてあり、必要な人がそれを使うと言う仕組みでした。地球温暖化を防ぐためには、大きな政策を持って取り組まねばならない事は当然ですが、微々たる努力ではあっても、世界平和に対するサーバスの草に根交流のように、地球上に生きている私たち一人一人が地球温暖化防止のために草の根気配りをと思うこの頃です。

今回の会報は、次の内容でお届けします。

1. 例会報告	舞鶴市	K.Y
2. トラベル報告	はじめての	SERVAS 国際会議 京都市 W.H
3. トラベラー受入れ報告	3度目の	ホスト 京都市 W.H
	ドイツに暮らしている	フランス人親子を受けて 京都府久世郡 A.K
	はるばる	メキシコから 奈良市 K.J
4. 会員交流	北から南から	例会での講演
	「太平洋戦争時	ソロモン諸島で生き残った上林さん」 草津市 N.N
5. お知らせとお願い	支部長	

1. 例会報告

舞鶴市 K.Y

日時 : 2018年11月11日(日)
 場所 : 京都市会員宅
 参加者 : 会員11名 休会員1名 計12名

暖かい秋晴れの気持ちの良い日、いつもお世話になっているHさん宅で例会が行われました。総勢12人、まず、お弁当をいただきながら、各人おしゃべりも花が咲きました。お弁当を食べ終わった後は、自己紹介をしていきました。そして、大津市会員W様の、「太平洋戦争時 ソロモン諸島で生き残った上林さん」についてのお話でした(内容は本会報、会員交流北から南からに記載)。1時間の講演はとても興



味深い内容で、あつと言う間で、時折、涙が出そうになりました。その後、モンゴルとの障がい児交流についての報告の後、次期近畿支部役員についてと来年度の日本サーバス国内会議への支部からの提案の有無についての討議に移りました。サーバス本部・支部の役割について等、活発な意見が交わされ、サーバス初心者の私も、何となくサーバスの仕組みが分かりました。SOLを取り入れた事によっての世界のサーバスの国におけるサーバス会員数の変化などを聞いたり、支部で会報や例会等をどうしていくべきか、ボランティアとしてのサーバの活動を、少しでも良くするためにはどうしたら良いか話し合いました。

最後に H さん宅のお庭で記念写真を撮り、ティタイムを楽しんで、4 時過ぎ解散になりました。

議題の討議等

(報告 支部長)

報告 モンゴルとの障がい児交流について

今までモンゴルとの交流に参加してきた方たちに、前回の支部例会での近畿支部の結論「サーバス近畿支部が中心になって立ち上げ、運営してきた日本モンゴル障がい児交流会はその役目を果たしたという事で終了にしたい。今後は、今までの交流に参加してきた者たちや、モンゴルサーバスと日本サーバス、又、近畿支部として関わっていけばと思う。」という事が了承された

議題 1. 来年度の日本サーバス国内会議への支部からの提案の有無について

近畿支部から国内会議に提案する事はない。モンゴルとの障がい児交流については、支部報告の時に行う。

議題 2. 次期近畿支部役員について

支部会員に公募したが、応募者はなかったので、候補者を考え、支部長から打診する事になった。

2. トラベル報告

はじめての **SERVAS** 国際会議

京都市 W.H

近畿支部長の H さんに「今度サーバス国際会議韓国だけに行きませんか？」と言われ、韓国ドラマ好きの私は「行きたい！」と即答しました。結局 H さんをご都合で参加されませんでした… えっ私ひとり？SERVAS 歴短いのに大丈夫？でも何故かやめようという選択肢はなかったのが不思議でした。結果的に心底楽しかったので、何か見えない力で背中を押されたのかも知れません。日本サーバス会長はじめ今回参加された九州 **SERVAS** の皆さんとはメールのやり取りで事前にコンタクトがとれた事、特に国際会議経験者の M さんとは何度も電話でお話が出来て心強かったです。不安と緊張でのりこんだ韓国でしたが、はじめての九州 **SERVAS** の皆さんのお陰で、これからの 1 週間がちょっと楽しみになりました。初日会場のセントラルユースセンターエントランスは今までに遭遇したことのない光景で盛り上がっていました。いろいろな色の輪の繋がりが見えた気がしました。これが **SERVAS** なんだ〜とテンションマックス！私は言葉の壁に戸惑いつつも、昨年カルガリーでガイドして下さったサーバスの方との再会にわくわくしました。その日の夕食後、**SERVAS KOREA** の心こもる歓迎パフォーマンスは感動もんで、本場のテコンドーは圧巻でした。連日のおもてなし企画で昌徳宮、全員参加の DMZ、古い町並みの北村と Delegate(議決権保持者)の O さんには悪いと思いつつ韓国観光も満喫出来ました。イン



ドの方の早朝ヨガや、Oさんの誘いでアジアミーティングにも参加させていただいたり、数分でしたが Delegate の気分も味わわせてもらいました。友達との再会も果せました。今後の私の人生にも影響するような貴重な体験ばかりで、今回の無謀な参加は大成功でした。48カ国の Delegate が国連さんからのシチュエーションで熱い意見を戦わせるこの現場にいる自分が信じられませんでした。最終日は観光はおあずけにして会議に出る事に。少し英語にもなれたのか？ヒアリングがほんの少し上達したような気がしました。帰国後バッグには国内を含め 11 枚の名刺がありました。自分の名刺を作らなかった事は後悔しました。そして私の英語力がもう少しあったらより親密になれたのにとと思うと悔しかったです。こんなにグローバルな仲間との出会いは二度と経験出来ないと思いました。カントリープレゼンテーションのため繰り返し練習した♪さくらさくら♪ 日本舞踊にはむいていない体型の私ですが、すごく良い思い出になりました。台湾のプレゼンテーションではのりのりの曲で踊ったり、チマチョゴリを着たり、SI President の Jonny さんとのハグは最高でした。楽しい思い出満載の 1 週間でした。

いろいろ気遣ってくださった韓国 SERVAS そして九州 SERVAS の皆さん、ほんとうに有難うございました。



3. トラベラー受入れ報告

3 度目のホスト

京都市 W.H

韓国での初の国際会議の興奮も冷めやらないまま迎えた M さん、まだホスト経験の浅い私は、前回同様待ち合わせがすごく不安でした。Delegate として参加されていた彼女とは何度か韓国でコンタクトがとれたものの、待ち合わせ場所での Wi-Fi 接続がスムーズにいかず苦勞しました。約束の時間の 30 分オーバーでなんとか京都駅で再会は果せました。取りあえず我が家へ。その日は西本願寺に行きたいとの事で車でお送りしました。私の用事を済ませ迎えに行った頃は、すっかり日が暮れて、自国アルゼンチンでは夕方 6 時頃はまだまだ明るいようで、「えっ！こんな時間なのに暗い」ってびっくりされていました。そして、近所の和食のお店に歩いて行く途中雨が降り出し、1つの傘であいあい傘をするといきなり♪雨に歌えば♪をスペイン語で歌いだされました。最初ちょっと恥ずかしかったのですが、私も一緒に歌いました(勿論英語で)。そこはお気に入りの行きつけの店でしたが、カウンターの向こうのお店の人もお話されたり、すごく喜んでもらえました。お料理も日本に来てから一番おいしかったと絶賛。今回は一泊だったのであまり時間がなかったのですが、次の日は歩いて二条城へ。思い通りすごい人、すごい外国人でした。前回 4 月頃はあまり見られなかったボランティアでしょうか、英語のガイドの日本人の多さにもびっくり。前日から着物を買いたいとの事で、あまり時間の余裕がなかったのですが、帰り道お



店に立ち寄りしました。黒に花柄が希望で結局留袖しかなく、着方もお店の人に教わり、最後には上手に着られるようになるくらい何度も試着されていました。彼女はデザイン？の教授をされているみたいでこだわりがあるようでした。手ごろな値段でお気に入りの一枚が見つかって良かったと思っています。

可愛いお孫さんの写真を見せて下さっている時はやさしいおばあちゃんの顔、韓国では代表者として真剣な顔、いろんな M さん、短いお付き合いでしたが、雨が降るたびに思い出しそうです。

ドイツに暮らしているフランス人親子を受けて

京都府久世郡 A.K

息子 M と一緒に 8 月京都に行きたいとメールをもらった。桂離宮と西芳寺と大文字送り火が見たいとリクエストがあった。桂離宮は、12 歳の年齢では入る事が出来ませんでした。西芳寺は、電話で確認して往復はがきで予約した。一人 3000 円で写経とお庭見学でした。西陣織会館屋上にて大文字の送り火を鑑賞するため一人 2000 円で予約した。私の英会話の S 先生と一緒に誘って出かけました。



前のホスト宅から我が家に荷物を送って良いかと連絡がありました。次のホスト宅へ移動する時もセブンイレブンを利用して荷物 20 kg 2080 円で送っていました。

M は、日本のアニメが大好きで、マンガミュージアムにも行きました。しかし、日本語ばかりだったそうで残念がっていました。任天堂のスイッチを買ってもらい、時間を見つけては夢中になっていました。

サンキューディナーは、近くのくら寿司へ出かけました。私たちは、久しく行っていなかったもので、システムに驚きながら、ごちそうになりました。パネルタッチに慣れてきてたくさん注文していました。



お皿を何枚か入れてガチャガチャが、二回も出て喜んでいました。

N は、日本の歴史に興味があり、寺と神社をたくさん見ていました。我が家に来る前に出羽三山に行った話をしてくれました。日本人ばかりだったそうです。とても、興味深かったそうです。

はるばるメキシコから

奈良市 K.J

11 月 14 日から 16 日までメキシコから N さんと B さんをお迎えしました。N さんはフィルムメーカー、B さんは言語学者で西英露の 3 カ国語を話されます。私は NPO 法人 EU 協会の会員なので、そちらの英語クラブのゲストになっていただき、英語でプレゼンテーションを 2 時間していただき、メキシコについて語っていただきました。メキシコの公用語は 12 もある事や中南米からの移民問題、メキシコの料理など、いろんな事を教えて下さいました。謝礼は 3000 円、それを持って皆で居酒屋に行き、延々と会話が続きまして。次の日は私は用事があったので 2 人を奈良まで送って行き、自分たちで観光してもらいました。夕方駅で待ち合わせをして、主人も加わり 4 人で天ぷら処へ。しらこのつきだしから始まって、次々、海老や魚や野菜を目の前で揚げて貰い、塩をついたり天つゆやカレー粉につけたりして 2 人は大喜び。この日はボジョレーヌーボーの解禁日だったので、ワインを持ち込んで皆で乾杯しました。ちなみに今年のヌーボーは大変良い出来です。最後に天ぷら茶漬けをいただき、十二分にお腹いっぱいになりました。2 人は日本酒に大変興味を持っていて、奈良町で紹介した酒蔵でいろんな種類の日本酒をテイastingしてお土産を買ったようでした。奈良の後は高野山に行く予定だと言ったの

で、寒いからたくさん着込んで行くようにアドバイスしました。次の日彼女たちを駅まで送り、名残惜しい別れをしました。また再び日本に来てくれることを祈って。

4. 会員交流—北から南から—

報告 渡邊さん講演「太平洋戦争時 ソロモン諸島で生き残った上林さん」 草津市 N.N

近畿支部の例会で、Wさんが偶然出会った方との出会いから、サーバスの基本理念「個人的な交流を通して世界平和の構築を助け、国際親善と異文化理解を推進させ、相互寛容の精神を学ぶ」。を体感された事を話して下さいました

週刊京都民報(2016, 12, 14)の上林熊雄さんの「太平洋戦争開戦75年初証言」という記事を見ながら、その上林さんとの出会いから話が始まりました。Wさんはよく瀬田川から宇治川を車で走りながら、そこにあるお花のきれいな家が気になっていたそうです。そこはお茶屋さんで喫茶店もあり、立ち寄った所、裏山の骨董屋さんのおじいちゃんを紹介されました。それが、上林さんでした。はじめは美味しいお茶を飲みながら、骨董品の話などでしたが、その内、かつてソロモンに衛生兵として出兵されていた事を語り始められたのでした。Wさんはその当時の残酷な現実を知らされ、上林さんの苦しい思い出を聞かれました。Wさんのお父さんも傷痍軍人として短い苦難の生涯でしたので、上林さんの戦争体験を聞きながら、会った事のないお父さんと上林さんが重なりました。上林さんの体験を独りで聴いていたWさんは、なんとか多くの方々に上林さんの事を伝えたいと念願していました。そして、Wさんが三井寺で例年開かれている「平和の絵画展」で紙芝居を制作して平和活動をしている女性と出会った時、上林さんの体験を紙芝居にする事を依頼されました。彼女は多忙で断られましたが、幸い彼女を取材に見えた京都民報の記者が上林さん取材してくれました。Wさんの長年の念願が叶ったのです。上林さんは今年99歳で亡くなりました。三井寺の絵画展にはサーバスのモンゴルとの交流のご縁で、モンゴルの児童の絵画も特別参加となった事があり、有難い事でした。



ある日、韓国サーバスのメンバーを奈良へ案内する途中、上林さん宅に寄りました。韓国のおばあさんは戦時中に日本からひどい仕打ちを受け、日本が大嫌いでしたが、上林さんを交えて腹藏なく話をするうちに、長年の日本嫌いが解けました。帰国の日には、「ぜひ韓国に来てほしい」と言われる程親しくなったのでした。Wさんは韓国サーバスの方との約束を果たすため韓国へ行き、心からのおもてなしを受けました。その時Wさんは、「これこそ草の根の平和運動だ」と感じたそうです。

例会参加の皆さんは、Wさんの話に静かに耳を傾けながら、時に涙が出てきたり、感動したり、貴重な時間となりました。お話の後には、一度作った武器は破棄出来ないから消耗しなければならない事、真に戦争をなくすにはどうすればいいのかと深い意見も出てきました。

5. お知らせとお願い

支部長

*既にお知らせしていますように、近畿支部総会を2018年12月15日(土)17:00~20:00 「四季自然喰処 たちばな ヒルトンプラザ 大阪本店」で行います。多くの皆さんにご参加いただきたく、ご予定を宜しく申し上げます。

*プロジェクターがあるのでパソコンを使ってわかりやすく例会で色々勉強出来るようになりました。皆さんもこんな事が知りたいと言う事があればどうぞお知らせ下さい。又、お楽しみ例会も何か良い案があれば提案して下さい。

*第41回日本サーバス国内会議が2019年3月16日(土)17日(日)広島市まちづくり市民交流プラザで行われます。誰でも参加出来ます。会員には支部会計から旅費の補助があります。皆様、どうぞ国内会議に足をお運び下さい。詳しくは後ほどの案内となります。

*2018年度サーバス年会費(一般3000円学生2000円休会者B1000円)をまだ送金されていない方は、至急次の口座へ宜しく申し上げます。

口座番号00990-6-33645 加入者名日本サーバス近畿支部

以上